

とちぎ義博 議会レポート

第13号 2002年新春号
発行者:福岡市議会議員 栃木義博
〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305
TEL.845-7669 FAX.845-8511
E-mail:tochigi@bronze.ocn.ne.jp



議会質問から

お年寄りや障害者、子連れのお母さんなど、移動制約者(交通弱者)の誰もが、天神など街を楽しむための施策の必要性について、決算特別委員会(10月16日)で質問しました。

天神に高齢者の歩行支援システムを

栃木 天神での高齢者の活動実態をどのように認識していますか。お年寄りが街を楽しむための施策をどう考えていますか。
福岡市 天神地区に来る高齢者は増えている。街を楽しむ施策の必要性については、高齢者が生きがいを見出し、会話を楽しくする場を増やすことにつながるもので、高齢者の健康づくりや介護予防という面から大切である。(協保保健福祉局長)

電動スクーター導入を商店街等と研究

栃木 電動スクーターを用いた歩行支援システムを天神地下街に導入し、モデル事業を実施できませんか。
福岡市 歩行支援システムは高齢者や障害者の回遊性を高め、街のにぎわい形成や商業の活性化の観点からも有効である。モデル事業の実施については、商業者が主体性を持って取り組む必要があるので、商店街等商業者や関係機関とともに研究する。(小川経済振興局長)



(電動スクーターに試乗)

このほか、市営地下鉄3号線の終点・天神から中洲川端駅への延伸・接続と、アイランドシティ(人工島)のまちづくりについても質問しました。

楽しかった「フルーツ狩りツアー」 山里の人々との交流も



(廃校会での子煮会)

支持者の皆さんとのふれあいを深める「秋のフルーツ狩りツアー」を11月3日に実施しました。バス4台を連ねて、甘木方面へ出発。あいにくの雨でしたが、梨狩り、山里・黒川の廃校での地元の人たちとの交流など、意義深い一日を過ごしました。
福岡市は甘木市から水道使用量の4分の1をもらっています。春には山菜が芽吹き、夏にはホテルが乱舞する黒川。山里の山や川を守る人たちと交流を深め、暮らしづくりを知る事は、都会に住む私たちの暮らしや、環境保護を考える第1歩でもあります。
「自然との交流」をテーマに、これからは小旅行を企画していきます。どうぞお楽しみに!



福岡市議会議員
栃木義博

一期目の最後の
1年、全力で
頑張ります。

あけましておめでとございます。
1999年に初当選して3年。今年いよいよ1期目の最後の年を迎えました。
昨年は不況の風が吹きすさぶ中、博多区のスーパースター時代シスター(SBC)など、福岡市のパブリックランドシティ(SBC)など、人口シフトの破綻が明らかになる一方、市議会で副市長の逮捕という前代未聞の事態が生じました。
しかし、市役所の業務に民間の経営感覚を取り入れ、市民サービスという市政の原点に立ち返ろうというDNA運動も根付きはじめ、行政に新しい動きが生まれてきました。
不況の風の中で、過去の権益にしがみついたり、行政の怠慢は絶対に許されることではありません。市民にとって本当に必要な施策は何かを納税者の立場で考え、新しい福岡市の姿を、市民参加で描き出さなければなりません。
3年間の議員活動を通じて、多くの方から寄せられた生の声を最大の力に、今年1年全力で取り組みます。ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

シリーズ「一緒に話そう」 英国の街づくりを語る 紙上討論会



【2連載 その2】

シリーズ「一緒に話そう」では、商店街の再生ポイントを英国のまちづくりに学ぼうとロンドンとマンチェスターの街に向け出発した英国スタディツアー参加者5名による紙上討論会を行いました。

訪問先の各都市・地区の街づくりの特徴や再開発の手法等について取材した内容を前号(秋号)でご紹介し、今回の新春号では、それらの取材報告を基に福岡の商店街の再生と豊かな地

域社会づくりに必要な要素を地域の視点から探ろうと種々意見が交わされた様子をご紹介しますと思います。

※2連載・その1(前号)「英国の街の特徴や再開発の手法について」、その2(今号)「福岡の商店街の再生と豊かな地域社会のために」

栃木 みなさんの取材報告を通して、英国の各事例に共通する街づくり成功のポイントなどを検討し、福岡の商店街や市街地再生のために参考になるものを探ろうと思います。



下村 賑わいの舞台となる歩行者空間などの面的なインフラ整備だと思います。
栃木 街づくりに関わったメンバーというものは?
下村 知識や実務に長けたスタッフを外から投入し、特定のプロジェクトに長期的に深く関わったそうです。



古きものを活かす喜び
栃木 手法としてのPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)が再開発に果たす役割は?
福岡 例えは、運河など古い環境を放っておくのではなく、現代の新しい日常生活に再利用し、地域全体で活かす工夫がされています。
小森 運河を水運としてではなく別の形で再利用するなど

マンチェスター市・ヒュム地区

ロンドン市 エンフィールド区

高齢者が楽しめる街!

栃木 まず、電動スクーターの無料貸し出しや車道と歩道に段差がないなど、高齢者や交通弱者に優しいエンフィールドですが、高齢者を引き寄せる街の魅力は?
長峰 大人が楽しめるものがあるでしょう。「高齢者にも優しい街」そのものがインフラとして上がっている。
栃木 スーパーマーケットなど店舗内の通路も段差がなく、幅も広がっています。
長峰 電動スクーターが離合できるだけの十分な広さで、車椅子の方も買い物を楽しめるように陳列棚の目録も低くなっていました。



ロンドン近郊 ホーシヤム地区

街づくりは外部スタッフと

栃木 車の影響で歩行者は安心して歩けない、あるいは郊外型の大型店舗の増加などで賑わいが薄れていった商店街を再生させたポイントは?

ロンドン都心 コベントガーデン

歴史的界隈性や風評を維持



栃木 コベントガーデンを参考に福岡の街づくりを考えると、何が大事でしょうか?
小森 ロンドンの場合、長い歴史の積み重ねがありますが、福岡の歴史や個性を見直し、

我が街商店街の新たな役割

住宅や交通などは地方のほうでまちづくり政策を行い、それが詳しいので政策は地方に任せ、資金の援助は中央政府の役割という政治の分業化が行われていました。
長峰 つまり、公的な補助金
栃木 英国の街に学ぶとすれば、何ぞ?
福岡 古きを今にどう活かすか。温故知新ですね。
小森 古くから続いていた店があれば、持続できた理由を商店街や消費者が見直すことが、日本人の生活を見直すことが、商店街の活性化につながるのではと思います。
下村 親子で買い物など、高齢者も若者も異世代が集まる空間があれば街を楽しめる。
長峰 こだわり商品の仕入や開発。そこでもか買えないモノを売る手法を展開していく小森 こだわらせていくような情報提供も必要ですね。
栃木 では、まとめとして商店街の新たな役割は?
福岡 やつぱり、コミュニケーションですね。住居、会議室や芸術家の活動場所、それにショッピングなど3つの役割がどのようにうまくかみ合うかでしょう。
栃木 街の再生ポイントとは、福岡の古き良き伝統を見直し、それを現代に活かす知恵や工夫にあるのかもしれない。そして、商店街にはコミュニケーションという新たな役割があることを再発見できたように思います。消費者や市民の視点から様々なご意見をありがとうございます。

(パネリスト)

- ▼小森俊介さん 西南学院大学商学部教授
- ▼下村仁士さん 九州産業大学大学院生(商学研究科・交通論専攻)
- ▼長峰秀彦さん 街づくりデザインプランナー、デザイン都市FUKUOKAをつくる会会長
- ▼福岡久大さん 九州大学大学院経済学研究院教授、福岡の都市づくりと交通を考える会会長
- ▼栃木義博：司会 福岡市議会議員、福岡の都市づくりと交通を考える会事務局長